

2013年度 菅公学生服グループ事業報告書

今年度の日本経済は金融政策、財政政策、成長戦略の一体的推進により、景気が緩やかな回復基調にあり、デフレを脱しつつある状況と言えます。消費税率引上げに伴う駆け込み需要後の反動がありましたが、徐々に消費動向は持ち直しの動きが見られています。ただし、今後も反動からの回復過程には注視していく必要があります。

このような中、2013年度当社は創業160周年の大きな節目を迎えました。業界の先駆者として「挑戦」し続ける思いを込めて「菅公学生服株式会社」に社名変更し、カンコーブランドの強化を進めてまいりました。その結果、売上全体につきましては、カンコーブランドの主力である制服や体育着が好調に推移し、昨年対比で増収となりました。子どもたちの夢を応援する「カンコードリームプロジェクト」や教育現場の課題解決を支援する「カンコーマナビプロジェクト」など、ワンランク上の制服メーカーを目指し、学校生活でのサービス向上を強化したことで、都市部、地方共にモデルチェンジの新規獲得増につながりました。利益につきましては、円安による原材料コストの上昇、さらに小ロット・短納期化、品種転換増加により製造コストが上昇し、昨年対比で減益となりました。

我々菅公学生服グループは、2014年度も引き続き「カンコーブランドの強化」を進めてまいります。制服・体育着という商品だけに留まらず、「学生工学」という独自の視点で未来を担う子どもたちを見つめ、「カンコードリームプロジェクト」を中心とした教育支援活動で「夢に向かう子どもたちの成長を応援していく」という役割を果たしてまいりたいと存じます。

記

1. 2013年度決算概要(2013年8月1日～2014年7月31日)

(1) 経営成績

単位:百万円

科目	当期	前期	前期比(%)
売上高	33,488	32,488	103.1
営業利益	777	1,088	71.4
経常利益	718	1,080	66.5
当期利益	102	489	20.9

(2) 部門別売上高

単位:百万円

部門	当期	前期	構成比(%)	前期比(%)
制服	22,116	21,322	66.0	103.7
体育着	8,905	8,763	26.6	101.6
企業ユニフォーム	2,326	2,269	6.9	102.5
その他	142	133	0.4	106.8
合計	33,488	32,488	100.0	103.1

※その他部門の見直しを行いました

2. 2014年度目標(2014年8月1日～2015年7月31日)

単位:百万円

売上高	34,000
経常利益	800

3. その他

連結対象会社 親会社(KANKO)と子会社42社、持分法を適用した関連会社1社

以上